

# 主体的に課題追究し、情報を整理・分析できる児童 を育てる総合的な学習の時間 — 「ステップシート」と「思考ツール」の活用を通して —

特別研修員 総合的な学習の時間 小西啓吾 (小学校教諭)

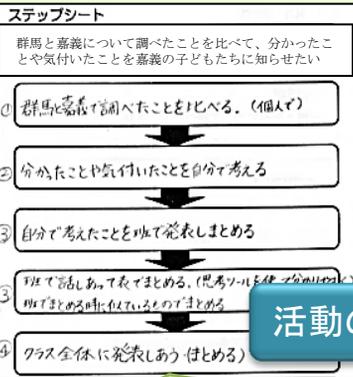
(目指す児童像)  
主体的に課題追究し  
情報を整理・分析できる児童



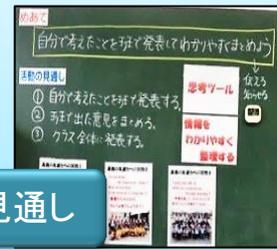
台湾の児童との  
国際協働学習

## 【手立て1】

短期的な学習の流れを把握し、  
活動の見通しを持つための「ステップシート」の活用



(2) 授業の導入で  
「ステップシート」を活用する。



活動の見通し

- (1) 児童の思いや願いを基にした課題解決に向け「ステップシート」を作成し、全体の流れを把握する。
- ① 課題追究のための手順を一人一人が考える。
  - ② 課題解決の手順をクラス全体で話し合う。
  - ③ 意見をまとめ、ステップシートに手順を記入する。

ステップシートを確認して、  
今日の授業の「めあて」  
や「活動の見通し」を  
考えてみよう。



課題の設定

まとめ・表現

情報の収集

整理・分析

「高山社学」を  
中心とした地域学習

(児童の実態)

- ・主体的に課題追究できない
- ・収集した情報を整理・分析できない

嘉義の子どもたちへ日本  
と台湾の「つながり」に  
ついて知らせたいな。  
なぜかという・・・



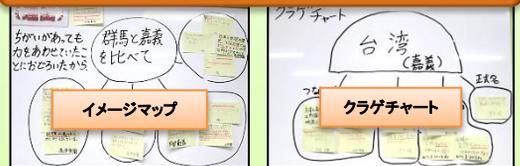
〇〇さんと△△さんの  
意見は似ているので  
組み合わせ  
考えてみよう。

## 【手立て2】

対話的な学びを促し、自己の考えをを広げ、  
深めるための「思考ツール」の活用



情報の視覚化、操作化、構造化



- (1) 目的に合った思考ツールを選ぶ。
- (2) 一人一人の考えを発表する。
- (3) 意見を比較・関連付け、情報を整理する。
- (4) 観点を基に、情報を分析する。

## 成果

- 課題追究のための手順をクラス全体で話し合い、ステップシートを作成することで、児童は短期的な学習の流れをしっかりと把握することができた。
- 授業の導入で、ステップシートを活用し、めあてにつなげ、活動の見通しを考えさせたことで、児童は主体的に課題追究をすることができた。
- 児童が情報を思考ツールで分類し、内容を検討する中でグループ内で活発な対話が生まれた。また、思考ツールを活用したことで、児童は新たな見方や考え方を見いだすことができた。

## 課題

- 児童がステップシートを活用し、「めあてを設定し、活動の見通しを持つ」といった一連の活動を短時間で終わらせるような、授業の導入の工夫が必要である。
- 情報の整理・分析場面で、深い学びにつながる「情報の分析」に十分な時間を確保するとともに、分析するための観点を明確にする必要がある。